

TTC 提案山行実施記録表 2018年12月26日 報告者:T.E

山行名	箱根ハイキング…元箱根石仏群と箱根旧街道 [神奈川県]				
実施日	2018年12月15日(土) 日帰り 公共交通利用				
天候/参加人員	天候: 晴れ/曇り レベル:★ 参加人員: 11名(男4名/女7人)				
パーティスタッフ	省略				
参加メンバー	省略				
費用 一人当たり <b>2,290円</b> (本厚木起点)	<b>(内訳)</b> <鉄道運賃 小田急一箱根登山鉄道>:本厚木→小涌谷……1,130 <バス代 箱根登山バス> 甘酒茶屋→箱根湯本…390 <鉄道運賃 箱根登山鉄道-小田急>:箱根湯本→本厚木… 770 <b>合計 2,290円</b>				
歩行・		歩行時間	休憩時間など	行動時間	歩行時間比(実行/計画) 1.73
	計画	2:30	1:05	3:35	行動時間比(実行/行動) 1.63
	実行	4:20	1:30	5:50	※史跡見学時間は、歩行時間に算入
<b>実行コースタイム記録</b>					
本厚木=箱根湯本=小涌谷-----千条の滝---(湯坂路)--鷹巣山(鷹巣城跡)---湯坂路標識---東光庵--芦の湯入口 WC-- 8:17 10:10/10:30 10:45/11:15 12:25~13:05 13:20 13:45 14:00~14:05 --(元箱根石仏群)---五輪塔(俗称石曾我兄弟供養塔)--磨崖仏(俗称二十五菩薩)---宝篋印塔(俗称多田満仲供養塔)--- 14:25 0:60 25 (5) 45 -磨崖仏(俗称応長地藏)--磨崖仏(俗称六道地藏)---精進池--お玉ヶ池---旧東海道石畳--甘酒茶屋==箱根湯本=本厚木 14:41 14:45 15:05 15:30 16:20/16:40 18:00					
<b>コースの概要、特記事項、反省事項等</b>					
天候は、予報に反し、スッキリしない曇天となったが箱根外輪山や箱根山は、稜線まで良く見える。お話し参加者2名を含め、11名となったが班編成せず、観光ツアー-もどきで順不同で歩く事とし、小涌谷駅でストレッチののち、予定通り出発。15分程で箱根ジオパーク、千条(ちすじ)の滝に到着。中央火口丘からの伏流水でできている幅20m高さ3mの滝だが糸を引く様に静かに落ちるさまは、実に清楚で美しい。ここでコンパスを使った地図読みの練習と経験が浅い方の参加という事もあって「山での歩き方」基本のレッスンなど30分、実施した後、鷹巣山に向かう。本日、唯一、登山らしい上りとなるが皆、呼吸も乱れる事もなく、順調に進んでいく。時折、振り返ると樹間から金時山がはっきりと見る事ができた。ここから金時山を見ると「顔から急に突き出る猪の鼻に似ているため、猪鼻嶽の異名を持つ」というのがなんとなく解かる気がする。湯坂路と合流し、分岐点を右に上っていくとまもなく、鷹巣山山頂に到着。ここで昼食休憩。ここは、後北条時代に築かれた鷹巣城跡とされてるが遺構が確認されず、はっきりしていないが小田原攻めの際、徳川家康が滞在したとの記録が残っている。鷹巣山からは、気持ちの良いススキの原を15分程歩くと国道1号線にぶつかり、湯坂路入口の標識に出る。鎌倉古道として栄えた湯坂路も残っている部分は、ここで終了し、芦の湯へは、箱根駅伝の名物区間、5区の舗道を歩く。芦の湯バス停より、「江戸の文化サロン」と呼ばれている東光庵(復元)を往復し、句碑などの史跡を見学した。芦の湯は、江戸時代、湯治場として有名で文人・墨客が此処に逗留し、東光庵をサロンとして風流を楽しんだとされ、安藤広重、賀茂真淵、蜀山人などが滞在したと云われている。芦の湯バス停に戻り、WCを済ませた後、愈々、国の指定史跡 元箱根石仏群への遊歩道へ入る。約700年前、この精進池周辺は、荒涼として噴煙も上がっていたと云われ、地藏信仰の霊地として崇められた場所であり、地獄を旅ゆく人々を救う仏として信仰された地藏菩薩を祀る多くの石仏や石塔が造られ、今に残されている。硬い安山岩を加工する技術が東国に伝えられた初期のもので五輪の塔(1295年)や宝篋印塔(ほうきょういんとう=1300年)は、大型で関東最古と云われており、建造物として国の重要文化財に指定されている。続いて現れる磨崖仏群は、二子山から流れ出た溶岩に直接、彫られたもので石造美術品として3件、国の重要文化財に指定されている。そのうち、磨崖仏の地藏菩薩坐像として国内最大級のものと云われる俗称六道地藏は、とても崖に彫られたと思えない立体感でメンバー一同、驚かされる。鎌倉時代後期の1300年前後の					

ある時期になぜ集中されてこの地に造られたのだろうか?などと昔日に思いを馳せ、一つ一つをのんびりと鑑賞しながら、巡る。駒ヶ岳と二子山の鞍部に精進池が広がる不思議な地形でここに賽の河原や噴煙が出ていた往時を想像しながら歩くのもまた、楽しい。国道1号線が走っている脇を通過して歴史館前に15:00に到着。後北条時代に鷹巣城など箱根十城が築かれ、防御ラインとなって終焉してしまった湯坂路に変わり、江戸時代になってから箱根越えのメインは、須雲川沿いの東海道に移ったが最後は、その一部、石畳を体験すべく、急ぎ、お玉ヶ池に向かう。歴史館からは、整備された下りの登山道であるが段が多く、思ったほど歩き易くは、なかった。「出おんな」に厳しい箱根関所を抜けようとして処刑された悲話が残るお玉ヶ池に15:30に到着。当初、国指定の旧東海道史跡全区間を歩く予定だったが時間が押して来た事もあり、一部に変更し、ショートカットして箱根の森経由で旧東海道の石畳に合流した。約200mほど史跡区間の石畳を体験したが急傾斜区間で滑り易く、腰が引けて手こずるメンバーもいた。甘酒茶屋までの新設道も石が敷いてあり、歩きづらかったが全員無事、16:20甘酒茶屋に到着。ここで一応、箱根ハイキングは、終了となったが江戸時代から続く甘酒を飲み、全員16:40箱根湯本駅行きバスに乗車、本厚木18:00到着にて解散。

メンバー各位へ

歴史散策みたいな事がメインとなり、登山的には、行程管理が不十分で歩行も早くなったり、遅くなったり、コースを短縮したりとご迷惑をかけました。

特にガッツリ系登山を楽しみにしている方にとっては、不満が残ったと思いますがCL以外は、全員、元箱根石仏群は、初めてとの事で身近な箱根に中世の歴史が実感できるハイキングコースがある事を認識していただければ幸いです。

拙いガイドिंगでしたが和気藹々と楽しく過ごさせていただき、安全に終了する事ができました。色々、ご協力をいただきましてありがとうございました。

以上